

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 6 日 (2020.8.6)

【公開番号】特開 2020-81594 (P2020-81594A)

【公開日】令和 2 年 6 月 4 日 (2020.6.4)

【年通号数】公開・登録公報 2020-022

【出願番号】特願 2018-223079 (P2018-223079)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 6 月 18 日 (2020.6.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

複数種類の演出要素群から演出要素を選択し、選択された演出要素に応じた態様で特定演出を実行可能な演出実行手段と、

遊技者にとって有利な有利状態に制御されることを示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、を備え、

前記複数種類の演出要素群は、第 1 演出要素群と、第 2 演出要素群と、第 3 演出要素群と、を少なくとも含み、

選択された、前記第 1 演出要素群の演出要素と、前記第 2 演出要素群の演出要素と、前記第 3 演出要素群の演出要素と、の組合せに特定の組合せが含まれていたときに、前記示唆演出として、当該特定の組合せが含まれていないときに実行されない特別示唆演出を、前記特定演出の実行中に実行可能な解禁状態となり、

前記示唆演出実行手段は、前記解禁状態において、前記有利状態に制御される場合、前記示唆演出として前記特別示唆演出を、該特別示唆演出とは異なる前記示唆演出よりも高い割合で実行し、

前記特別示唆演出が実行される前に前記特別示唆演出が実行可能となったことを報知可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(A) 上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

複数種類の演出要素群から演出要素を選択し、選択された演出要素に応じた態様で特定演出を実行可能な演出実行手段と、

遊技者にとって有利な有利状態に制御されることを示唆する示唆演出を実行可能な示唆

演出実行手段と、を備え、

前記複数種類の演出要素群は、第 1 演出要素群と、第 2 演出要素群と、第 3 演出要素群と、を少なくとも含み、

選択された、前記第 1 演出要素群の演出要素と、前記第 2 演出要素群の演出要素と、前記第 3 演出要素群の演出要素と、の組合せに特定の組合せが含まれていたときに、前記示唆演出として、当該特定の組合せが含まれていないときに実行されない特別示唆演出を、前記特定演出の実行中に実行可能な解禁状態となり、

前記示唆演出実行手段は、前記解禁状態において、前記有利状態に制御される場合、前記示唆演出として前記特別示唆演出を、該特別示唆演出とは異なる前記示唆演出よりも高い割合で実行し、

前記特別示唆演出が実行される前に前記特別示唆演出が実行可能となったことを報知可能である。

このような構成によれば、遊技の興趣が向上する。

( 1 ) 上記目的を達成するため、他の遊技機は、

遊技を行うことが可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機 1 ）であって、

複数種類の演出要素群から演出要素（例えば S T 中のステージ）を選択し、選択された演出要素に応じた態様で特定演出（例えばステージに応じた演出）を実行可能な演出実行手段と、

前記複数種類の演出要素群は、第 1 演出要素群（例えば S T 序盤のステージ）と、第 2 演出要素群（例えば S T 中盤のステージ）と、第 3 演出要素群（例えば S T 終盤のステージ）と、を少なくとも含み、

前記演出実行手段は、前記第 1 演出要素群の演出要素と、前記第 2 演出要素群の演出要素と、前記第 3 演出要素群の演出要素と、の組合せが第 1 の組合せ（例えばステージ A 及びステージ E やステージ D 及びステージ F ）であったときに、当該第 1 の組合せとは異なる第 2 の組合せであったときには実行されない特別演出（例えば特別予告演出である予告 M、予告 N ）を、前記特定演出の実行中に実行可能である。

このような構成によれば、遊技の興趣が向上する。